



12月定例会の 提出議案から

ピックアップ

補正予算

「主な項目」

〔歳入〕

ふるさと燕応援寄附金

3億円

●この補正の内容は
平成28年度に比べてふるさと燕応援寄附金が増加しており、歳入当初6億円の予算を9億円と改め、返礼品送付等に係る諸経費(1億7560万円)を増額します。



ふるさと燕応援寄附金で導入したタブレットを授業で活用

〔歳出〕

燕市長選挙費

燕市長選挙費(期日前投票所増設)

126万円

●この補正の内容は
燕市長選挙(平成30年4月8日実施)、燕市議会議員選挙(平成30年10月実施)において、要望のあった期日前投票所の増設を行い、燕市役所・燕庁舎・分水公民館の3カ所で実施します。

情報政策費

情報システム管理費

59万5000円

●この補正の内容は
マイナンバーカードのサービス向上のため、オンラインサービス「マイナポータル」において、子育てに関する手続の一部で電子申請が可能になります。

都市計画総務費

空き屋等対策推進事業

150万円

●この補正の内容は
危険な状態が切迫し、周囲の環境に悪影響を与えている特定空き家である旧南楽新館の取り壊しに向け、手続に必要な相続財産管理人申し立てのための経費を計上。土地・建物を市の所有とする経費です。



入学に間に合うように

教育振興費

新入学学用品費扶助費

小学校費 365万4000円

中学校費 507万2000円

●この補正の内容は
ひとり親家庭に対する児童扶養手当対象者アンケートで要望の多かった新入学学用品扶助費の支給を、これまでの「7月支給」から平成30年度の入学分より、入学費用のかかる「3月」に変更し、保護者の負担を軽減します。

